オトナのふるさと学習

月刊 このへん だいすき

4月号

作　セルジュ・タカハシ

記録や形には残らず、日々失われていく地域の記憶
いまさら人に聞けない「このへん」限定のジャンゴな話題あれこれ
最近引っ越してきたあなたも
生まれてこのかたずっと「このへん」なあなたも
読めばたちまち、「このへん だいすき」に

秋田美人誕生の秘密とは？「このへん」の熱心な医師が、女子高生で実証実験。小町伝説は予言していた。

秋田美人の誕生

「秋田美人」という言葉のおこりは、秋田市の川反芸者華やかなりしころ。文人の客が言い出したのが始まりで、接客業の女性の美しさの評価だった。

熱心な医師

湯沢市の開業医の杉本元祐先生は、秋田美人の謎を解明したいと考えて湯沢北校の女生徒の顔のサイズなど11か所を測り、驚きの結果を導いた。

伝説は予言

世界三大美女の日本代表に輝くのが小野小町。湯沢市横堀の小野地区の生まれで、数多くの小町伝説が後の「秋田美人」の存在を予言している。

秋田市が好景気に沸いたころ、二百人もいたという川反（かわばた）芸者。その代名詞が「秋田美人」です。秋田美人の人材供給源こそが、「このへん」、つまり県南の横手盆地の周辺だと考えられます。

日照時間が少ないため色白で、どこまでも広がる田んぼの水がうるおした肌はみずみずしく、太古に異国人との混血があったことから産まれた天性の美貌は、雄物川上流の内陸で大切に守り伝えられた。との説があります。

横手盆地周辺は美人発祥の地。その資格だけは十分のようです。

湯沢市小野出身の小野小町は、絵にも描けない美しさのせいでどの肖像画も後ろを向いているほどの美女ですが、その美貌は多くの伝説に彩られています。

その湯沢市のお医者さんが、湯沢北高校の女子生徒のサイズ（ある意味危ないので顔中心に）を測って数値を出すと、ミロのビーナスに匹敵したといいます。

永遠の美女小野小町の伝説は、今も生き続ける美人誕生を予言していたのかもしれません。

秋田美人は「このへん」の短い日照時間と水の恵みで磨かれた。
小町伝説は、後の秋田美人誕生につながる予言だったのかも。